

令和元（平成31）年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号	26
部	教育委員会	課	スポーツ推進課

1. 指定概要

施設概要	名称	近江八幡市駅南総合スポーツ施設		建設年	平成11年（大規模修繕 年）		
	所在地	近江八幡市鷹飼町40		利用対象	全市 地域		
	設置目的	①市民の心身の健全な発達及びスポーツに普及振興を図る。 ②子どもから高齢者、障がい者（児）など、市民の様々な要望に応じて、市民が生涯にわたリスポーツを楽しめるように、多様な活動機会と情報を提供する。 ③競技スポーツの重要性を認識し、各種大会等の誘致・開催により、競技力の向上と競技人口の拡大を図る。					
	規模	敷地面積 10,262.40 m ² 、 延べ床面積 2,031.46 m ² （体育館）、 187.51m ² （弓道場）、 鉄筋コンクリート造 一部2階建（体育館）					
	指定管理開始年度	平成18年度					
指定管理者	名称	株式会社大進					
	所在地	近江八幡市中村町2-4					
指定管理業務の内容	①施設の維持管理に関する業務 ②施設の利用に関する料金の徴収等に関する業務 ③施設の設置目的の達成に資する事業に関する業務 ④施設の利用者の利便性を向上させるために必要な業務 ⑤その他、施設の運営に関し市長が必要と認める業務						
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日（5年間）						
指定管理料	平成29年度：6,107千円	平成30年度：6,107千円	令和元年（平31）年度：5,795千円			令和2年度：6,090千円（見込）	
利用料金制	採用している			選定方式	公募	応募者数	1

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和元(平成31)年度実績	担当課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	<p>【目標】</p> <p>○安全で安心して利用できるスポーツ施設</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>①施設・設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設清掃(体育館) 施設整備(テニスコート) 施設整備(弓道場) 植栽管理 消防設備保守点検 電気設備の点検・メンテナンス 建設設備管理(自動ドア、防犯カメラ、電気設備装置) 施設機械警備(機械警備用センサーメンテナンス) <p>②危機管理体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防訓練・緊急時対策訓練 個人情報の保護 	<p>①施設及び設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設清掃(体育館)日常清掃(毎日)、ワックスメンテナンス(年1回12/27)、防球ネット・網戸・バドミントンボール・卓球ネット修繕 施設整備(テニスコート)コート整備(とんぼ・ブラシローラー 毎日)、コート使用後整備、雨天後の整備(水抜き整備)、ラインテープ・防風ネット・用具庫屋根修繕 施設整備(弓道場)安土整備(8/19~25)、建屋清掃、草刈り、芝生整備(年数回)、的張り(月1回) 施設整備(屋外)芝生除草(年数回)、目土入・施肥(月1回)、高・低木害虫駆除、剪定、施肥(4~10月 月1回)、季節毎のプランター世話、竹垣・東屋・庭ベンチ防腐剤塗布、塩化カリウム散布(4月・5月)等 消防設備保守点検(総合・外観 年1回 10/3) 電気設備の点検・メンテナンス 動力系電気点検(2ヶ月毎)、キュービクル点検・メンテナンス(年1回 11/5) 建設設備管理 自動ドアメンテナンス(年1回 4/3)、防犯カメラシステムメンテナンス(随時)、電気設備装置全般メンテナンス 施設機械警備 昼間・夜間警備を機械警備で実施(毎日)、機械警備用センサーメンテナンス(年1回) <p>②危機管理体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防訓練・緊急時対策訓練 自主消防避難訓練・防災教育(12/27) 	<p>(よかったと評価できる事項)</p> <p>古くなった備品の補修や、塗装の塗り直し、年度末に発生した新型コロナウイルスへの対応等、利用者が快適に利用できる環境を維持しており、迅速な安全対策が行われている。</p> <p>(改善を要した事項と対応)</p> <p>テニスコート横のT字路の垣根を低くして見通しをよくする等、安全管理に努めている。また、バレーボール支柱の修繕やテニスネットワイヤーの補修などを行い利便性の向上に努めた。</p> <p>(課題)</p> <p>施設の経年劣化等に伴い修繕が必要な箇所があり、指定管理者からも要望されているが、予算確保が必要なため緊急性のあるものから順次対応しなければならない。</p>
	(施設)施設の運営向上業務	<p>【目標】</p> <p>○利用者の目線を基本とする施設運営</p> <p>○生涯スポーツ推進は市民の集いから</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>①利用許可</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定の利用者に偏らない公平な運営 <p>②利用料の設定、徴収、減免</p> <p>③スポーツショップの開設</p> <p>④おもてなしの精神による運営</p> <ul style="list-style-type: none"> イルミネーションの実施 季節の花や飾りを適宜実施 意見箱の設置 憩いの広場(あずまや)の美化 	<p>①利用許可</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月月初めの利用者調整(抽選による) <p>②利用料の設定、徴収、減免</p> <ul style="list-style-type: none"> H31(R1) 8,933,905円(H30 8,807,555円)税込 <p>③スポーツショップ開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 柔道着、ラインテープ、ビーチボール、グリップ等の販売 <p>④おもてなしの精神による運営</p> <ul style="list-style-type: none"> イルミネーション実施(12月1日~1月31日) 季節の花や飾りをアリーナ入口・公共道路の歩道等に設置 文化サークルによる生け花の設置(月4回) 貴重なご意見を管理運営に活かせるよう意見箱を設置 憩いの広場(あづまや)の美化 トイレ洗面台等は常に清潔に清掃 男女トイレに椅子・靴ペラを設置(アンケート要望) 	<p>(よかったと評価できる事項)</p> <p>イルミネーションや意見箱の設置、靴のまま履けるスリッパのトイレへの設置等、利用者から好評を得ている。</p> <p>(改善を要した事項と対応)</p> <p>特になし</p> <p>(課題)</p> <p>特になし</p>
	(提案)その他の業務(自主事業)	<p>【目標】</p> <p>○民間企業の英知と努力を活かした施設運営</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>①防犯の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全担当職員(施設常駐警備資格者)の配置 防犯カメラを複数台設置し、事務所内モニターで監視 「警備実施中」の看板を掲示 夜間は機械警備システムにより遠隔監視 <p>②職員研修・勉強会の開催</p> <p>③ライフラインベンダー対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害救援自販機の設置 <p>④自主事業の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ファミリーバドミントン体験教室、親子卓球教室、スポレック教室、初心者向け弓道教室、武道体験教室、普通救命講習 	<p>①防犯の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全担当職員(施設常駐警備資格者)の配置 防犯カメラを複数台設置し、事務所内モニターで監視 「警備実施中」の看板を掲示 夜間は機械警備システムにより遠隔監視 <p>②定例会(月1回)、施設管理者研修(月1回)、警備員研修(年2回)、火災報知器・非常押しボタン等対応研修(年数回)</p> <p>③ライフラインベンダー(災害救援自販機)の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の飲料水無償提供 <p>④自主事業の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通救命講習(講師:東近江消防署 16名)、バドミントン体験教室(22名)、卓球教室(18名) <p>⑤共催事業等の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性バドミントン教室(8回 127名)、弓道教室(12回 105名)、親子卓球教室(5回 128名)、スポレック教室(6回 70名)、ファミリーバドミントン体験教室(4回 80名) 	<p>(よかったと評価できる事項)</p> <p>常駐の有資格警備員配置や救命講習会の開催など、警備会社ならではの不測の事態に備えた危機管理が行われている。また、市との共催事業や自主事業への積極的な取り組みができています。</p> <p>(改善を要した事項と対応)</p> <p>特になし。</p> <p>(課題)</p> <p>自主事業において、受講者数の少ない教室や講習とニーズのある新規教室の見極め、精査に努めたい。</p>

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	<p>【目標】</p> <p>○利用者の声が反映される施設運営で利用者を増やす</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>①意見箱の設置</p> <p>②施設利用状況の明示</p> <p>③利用者アンケート調査の実施(3月)</p> <p>④固定利用団体への利用促進を実施</p> <p>⑤口コミ宣伝での利用促進</p> <p>⑥ホームページの活用</p>	<p>●施設利用者数 H31 61,059名 (H30 59,860名)</p> <p>①利用者から意見聴取し管理運営に活かすため意見箱を設置</p> <p>②月ごとの施設の利用状況(空き状況)を利用者にわかりやすいように明示</p> <p>③利用者アンケート調査の実施</p> <p>④固定利用団体へ利用促進を依頼</p> <p>⑤口コミ宣伝での利用促進を实践</p> <p>⑥ホームページを活用し、利用者に有効利用していただくため新着情報等を随時掲載</p>	<p>(よかったと評価できる事項)</p> <p>稼働率向上を図る為、施設の空き状況を館内に明示し積極的に利用促進を行っている。また、継続したアンケート調査の実施および集計結果の分析をはじめ、月例定例会の開催により逐次、住民サービスの向上に努められている。加えてあいさつ運動に努められている。</p>
		(改善を要した事項と対応)	特になし。	
		(課題)	ホームページによる利用者への情報発信について、情報の鮮度やページの見やすさなど、さらなる工夫が必要。	

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和元(平成31)年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	<p>●収入 17,336千円</p> <p>指定管理料 6,107千円</p> <p>利用料等 8,807千円</p> <p>ショップ運営・自販機手数料 2,422千円</p> <p>【税込み】</p> <p>●支出 17,641千円</p> <p>人件費 11,197千円</p> <p>管理運営費 6,444千円</p> <p>【税込み】</p>	<p>●収入 16,458千円</p> <p>指定管理料 5,795千円</p> <p>利用料 8,933千円</p> <p>ショップ運営・自販機手数料 1,620千円</p> <p>事業費 110千円</p> <p>【税込み】</p> <p>●支出 16,493千円</p> <p>人件費 10,833千円</p> <p>管理運営費 5,660千円</p> <p>【税込み】</p>	<p>(よかったと評価できる事項)</p> <p>老朽化が進む施設や備品の修繕において、限られた予算の範囲内で職員自らの経験と知識を生かし、工夫を凝らしつつ迅速な対応が行えている。</p> <p>(改善を要した事項と対応)</p> <p>稼働率を向上させるために、過去の年間利用状況を基に、施設の空き時間・空き曜日を中心とした、新規自主事業の積極的な開催が引き続き行われている。</p> <p>(課題)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により今後の見通しが立たないことから、大幅な利用料収入の減が想定される。また、昨年10月から開始したシニア割引による収入減が大きくなることも予想され、市としての対応検討が必要。</p>

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	3月に利用者アンケートを実施
評価頂いている内容	利用団体からは「窓口対応」「施設の清掃状況・器具の手入れ」「安全・防犯対策」等のほとんどの項目で「とてもよい」や「よい」という評価を得ている。しかし、「施設の利用条件等」では、駐車場が狭く駐車可能台数も少ないことから、改善に向けて検討が必要となっている。
苦情・意見等	施設(照明、オーバードア)への改善要望

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

施設の経年劣化に伴う修繕が増えている。いずれも予算確保が必要なことから、今後も市と管理者で協議の上、緊急性の高いものから順次計画的に改善していく必要がある。

また、2025年開催予定の国民スポーツ大会において、アリーナは練習会場となっていることから、照明や床の改修、防球対策等が喫緊の課題となっている。

6. 指定管理者の自己評価コメント

指定管理者として14年目を迎え、利用者の目線に立った施設の管理運営が行えました。空き時間帯・スペースの効果的な利用促進と職員の“おもてなし”の心を持った接客、利用者からの意見聴取、日常的な清掃の強化など、気持ちよくスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みました。

今後も施設管理業務のプロとして、引き続き業務改善を行い、安全で安心して利用できるスポーツ施設にして参ります。

7. 所属の総括コメント

利用者目線を最優先に適切な施設の管理運営が行えており、アンケート結果から利用者の満足度も高いことが伺える。また、限られた予算の範囲内で職員自らの経験と知識を生かした施設や備品の修繕等を行うなど、工夫を凝らしつつ迅速な対応が行えており「安全で安心して利用できるスポーツ施設」の管理運営に努められている。